

なかよし ほけんだより 2月

現在県内では、多くの未就学園児や園の教職員が新型コロナウイルスに感染し、臨時休園する保育施設も多数に及ぶ状況が続いています。

学校現場でも同様の状況となっている中、感染拡大地域を管轄する保健所から指導助言がありました。小学校以上の学校対象の指導助言となる部分もあり、実際に2歳までのこどもへの対象とは異なる助言もありますが、ご家庭のみなさまにおいての感染回避行動の参考としていただきますようお願いいたします。

マスク着用に係る留意事項

①正しいマスクの着用

- ・鼻と口の両方を確実に覆う。
- ・ゴム紐を耳にかける。
- ・隙間が無いよう鼻まで覆う。



②マスクの取扱い

- ・マスクを外す際には、ゴムや紐をつまんで外し、手指にウイルス等が付着しないよう、なるべく表面には触れず、内側を折りたたんで清潔なビニール袋や布等に置く等して清潔に保つ。

③マスクの素材

- ・マスクの素材等によって、マスクの効果には違いが生まれ、一般的なマスクでは、不織布マスクが最も高い効果を持ち、次に布マスク、その次にウレタンマスクの順に効果があるとされている。

※マスクを着用しない状態での会話や活動はできるだけ控える。

手洗いに係る留意事項

①様々な場所にウイルスが付着している可能性があるため、こまめに手を洗う。

②特に指先・指の間・親指は注意して洗う。

換気に係る留意事項

①換気

- ・可能な限り常時換気に努める。
- ・常時換気が困難な場合は、30分に1回以上、窓を全開にする。

②エアコンを使用している部屋

- ・エアコンは室内の空気を循環しているだけで、室内の空気と外気の入れ替えを行っているわけではないことから、エアコン使用時においても換気は必要。

③冬季における換気

- ・冷気が入り込むため窓を開けづらい季節ですが、空気が乾燥し、飛沫が飛びやすくなることや、季節性インフルエンザが流行する時期でもあるため、徹底した換気に取り組むことが必要。

ご家庭へのお願い

体調不良の場合は、十分に体調が回復するまで、ご家庭での保育にご協力をお願いします。

ご家族に症状があるにもかかわらず家族の受診結果を待たずに登園していたことでの感染例もあります。

発熱や咽頭痛等の風邪症状がある場合は、自宅での休養や受診をしていただけますよう、ご理解とご協力をお願いします。

また、こども達は自分の健康状態をうまく伝えることができません。おこさんが一日を元気に過ごすことができるよう、「朝の健康観察」をお願いします。

熱やだるさはないか

頭痛や腹痛はないか

顔色は悪くないか

下痢や便秘はしていないか

睡眠は足りているか

咳やのどに痛みはないか

食欲はあるか

元気はあるか（暗い表情・無口）